

モーツァルト・サロン会報 NO.72

第72回 モーツァルト・サロンコンサート・シリーズ
「上敷領藍子ヴァイオリンリサイタル」特集

2021年10月3日号



情熱のカルメン幻想曲

ご挨拶

長かった緊急事態宣言が明けて、少しだけ明るい日々が戻ってきましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、台風も通り過ぎ、絶好のコンサート日和になった10月3日(日)14:00より、当サロンでは「上敷領藍子ヴァイオリンリサイタル」がピアノの須関裕子さんを迎えて開催されました。当初は昨年5月17日の開催予定でしたが、コロナ禍により、2度の延期を余儀なくされました。主催者としては演奏者、お客様に対して心苦しい思いでしたので安堵致しました。

第1部は上敷領さんのお話から始まりました。「最初の2曲について先にお話させていただきます。モーツァルト(ヴァイオリン・ソナタ K.547)とベートーヴェン(フィガロの主題による12の変奏曲 WoO 40)の曲は関連性がありまして、両方ともウィーンで書かれています。ベートーヴェンが若かった頃、フィガロの結婚が4回上演されていて、彼はヴァイオリン奏者としてその公演に乗っていたらしいのです。きっとこのテーマを聴いてヴァイオリンとピアノの為の曲を作りたいなど感じながら演奏していたんじゃないかと想像しています。1曲目のモーツァルトに関してはピアノとヴァイオリンの為の曲ではあるんですが、この曲が書かれた後にピアノソロに編曲されていて、ピアノ曲としても成立し過ぎています。モーツァルトとベートーヴェンの雰囲気はちょっとだけ違うのですが、時代が繋がっていたり、どこか似ている部分があったりというのを比較して聴いて頂きたいと思います。私としては初の試みになるんですけども2曲続けて演奏したいと思います。ベートーヴェンの始まりはピッツィカートで始まります」。そして絶妙なアンサンブルで典雅な2曲が奏されました。

3曲目は「シューベルト：ヴァイオリンとピアノの為のロンド」。演奏前に曲について次のようにお話されました。「ロンドと言えば同じことが繰り返されるという感じですが、最初の方ですごくゆっくりな歌う部分があり、途中からロンドらしい軽やかな感じの、リズムカルで楽しい雰囲気に切り替わった後は、ずっとそのテーマが続いて演奏されて行きます。この曲で楽しいな、弾いていて面白いと思うのはシューベルトのハーモニーです。テーマが同じなのにちょっとずつ毎回ハーモニーが変わっていくのです。その変わり方が本当に絶妙です。言葉では説明ができないのが残念なのですが、何とか演奏で表現しようと思いますのでそれを感じながら聴いて頂ければと思います」。気迫のこもった演奏には涙する方々がいらっしや、第1部の終わりにカーテンコールが行われました。

第2部の1曲目は「グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第2番長調 Op.13」。美しさ、物悲しさ、激しさ等、様々な人間の感情が次々に現れてくるこの曲、しかも難曲をヴァイオリンもピアノも簡単そうに、表現力豊かに弾き切りました。最後の曲は「フバイ：カルメン幻想曲」。オペラ・カルメンの曲をアレンジしたものがいくつかある中で、上敷領さんの一押しがこの曲だそうです。劇的に繰り広げられる演奏に、オペラの様々なシーンが脳裏に浮かんで来て、しばし別世界にいるようでした。お二人には万雷の拍手が送られ、それに応えるアンコールの前に次のように話されました。「ありがとうございます。あっという間の2時間でした。嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。ご一緒させて頂いたピアニストの須関裕子さんは本当に素晴らしくて一音一音へのこだわり、考え抜かれた表現力が伝わってきて、キャッチボールが素晴らしく、今日ここで須関さんのピアノを聴いて頂けたことと共演させて頂いたことも嬉しく思います。せっかくですので、裕子さんからも何か…。」ということで須関さんのお話をご紹介します。「皆様大変な中、いらして頂きありがとうございます。上敷領さんとの共演は2度目で、リサイタルは初めてでした。リハーサルの時から和やかに楽しくさせて頂いたのですが、本番での熱が伝わってきたり、皆様がいらして下さる中での二人の対話というのを楽しむことができてすごく幸せでした」。それから上敷領さんから次のようなお言葉がありました。「最後に、コロナがより良い状況になりますよう、皆様の健康をお祈りしまして、タイスの瞑想曲をお送りしたいと思います」。

そして、サロンには祈りが込められた音が響き渡りました。お二人の演奏で、人間が持つ様々な感情や思いを久々に呼び起こされて、満たされた思いのひとときでした。コンサートは心の栄養ですね。これからもこの状況にめげずに開催して行く勇気を頂きました。

お二人の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

パトス四重奏団・東京公演

日時：2022年1月11日(火)19時開演(18時30分開場)

会場：板橋区立文化会館・小ホール(東京都板橋区大山東町51-1)

出演：パトス四重奏団：上敷領藍子(Vn)、木下雄介(Vla)、増田喜嘉(Vc)、吉竹優(Pf)

曲目：モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番短調/ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番短調

チケット：一般3000円・学生2000円

主催：パトス四重奏団

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子

アンケート集計結果

ご協力ありがとうございました。

1. プログラムの中で良かった曲を教えてください。(何曲でも可)

- モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタK.547 14
- ベートーヴェン：フィガロの主題による12の変奏曲 WoO 40 14
- シューベルト：ロンドブリランテ D.895 15
- グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 Op.13 15
- フバイ：カルメン幻想曲 16
- アンコール曲 14

2. 上敷領藍子さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ 豊かで実直な音色と音楽がすばらしかったです。
- ♪ 素晴らしい演奏でとても心地良いひと時でした。又、聴かせて頂きます。
- ♪ フルでお聴きしたの初めてでしたので、嬉しかったです。おかげ様で最高の休日になりました。
- ♪ こんなに近くでヴァイオリンの演奏を聴いたのは初めてでした。とても美しい音色で、優しい音にはいやされ、激しい曲にはドッキリしました。ぜひまた演奏を聴きたいです。
- ♪ 今まで拝聴したヴァイオリンの演奏で一番素晴らしかったです。感動しました。
- ♪ 間近で演奏を聴くことが出来て、とても有難く感じました。迫力があって圧倒されました。
- ♪ 大変素晴らしい演奏ありがとうございました。愛犬ちゃんのご冥福を。どうにもモーツァルトとベートーヴェンは別格なくらいに好きなもので。
- ♪ 迫力のある情熱のこもった演奏、ありがとうございました。コロナもありお辛い中での演奏だったと思いますが、これからも頑張ってください。
- ♪ 久しぶりに美しいメロディを楽しく聴かせて頂きました。フバイはすばらしかったです。結構むずかしい曲を心地よく演奏されて、今後の御活躍を期待しております。
- ♪ 何度もまたされましたがこの時を大切にすごさせていただき、シューベルトのころには目がうるんできました。ありがとうございました。
- ♪ 強い意志のある、力強い演奏でした。数々の舞台でこれからもご活躍ください。アンコールでやわらかい音色に変わり、素敵でした。
- ♪ 初めて拝聴しました。情熱的な演奏が印象的で、別の曲もぜひ聴かせていただきたいと思います（ツイゴイネルワイゼンなど）。タイス、肩の力が抜けた演奏、素晴らしかったです。
- ♪ 2回の延期で大変でいらしたと思います。素晴らしい演奏を有難うございました。
- ♪ 関東でのコンサートを増やして下さい。横浜と西船橋に音響の良いサロンがあります。
- ♪ このままですてきです。



ご挨拶：2回の延期を経てやっと開催できました。



モーツァルト：絶妙なバランスのアンサンブル



ベートーヴェン
モーツァルトと似通った作風でしかも同じヘ長調



トーク
シューベルトのハーモニーが絶妙なんです♪



シューベルト：前半の最後の曲は大変な熱演でカーテンコール！



3. 須関裕子さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ ヴァイオリンと一緒に歌う、素晴らしい「二重唱」でした（前半）。後半のロマン派プログラムは、ヴァイオリンを支える距離感が素晴らしかったです。
- ♪ 久しぶりに聴いて素晴らしい演奏に感動しました。
- ♪ 譜めくりなしでodorokimashitaが、素晴らしい重奏で楽しませて戴きました。又、聴かせて戴きます。
- ♪ 久しぶりにお聴きできて嬉しかったです。
- ♪ ヴァイオリンの演奏の本当にいいところでピアノで盛り上がり、とても2回目の共演とは思えませんでした。ずっと一緒に組んでいるお二人なのかと思っていました。合わせるためのアイコンタクトの様子が印象に残りました。トリルの美しさ、軽やかに驚きました。
- ♪ お二人の息がぴったりで、素晴らしい演奏に鳥肌が立ちました。
- ♪ ヴァイオリンを引き立てるような、それでいて存在感を十分感じる素晴らしい演奏でした。
- ♪ とても素敵な演奏でした。これからも活躍されてください。期待します。
- ♪ キレのある素敵な演奏が印象的でした。まだまだ制約の多い中での活動と思いますが、頑張ってください。
- ♪ 力強い演奏で、元気が出ました。御活躍を期待しております。
- ♪ 伴奏のすばらしさをあらためて考えさせられました、ステキでした。
- ♪ 正確なテクニックで、ソリストをしっかりと支えていらっしゃいました。色々な舞台が期待できます。
- ♪ いつもながらの繊細なピアノ、久しぶりの生演奏で改めてその素晴らしさを感じました。次はまたソロの演奏を聴かせていただきたいと思っています。
- ♪ 古典派とロマン派の曲のタッチの違いが大変勉強になりました。
- ♪ いつも力強く繊細な演奏に元気をもらっています。また次回も伺います。
- ♪ 須関さんのピアノ、CDでは聴いていたのですが、生演奏聴くととても良いです。ピアノもとても良かった。ピアノのソロのコンサートお伺いしたいと思います。
- ♪ 大和市のシリウスで2020年2月のリサイタルに感動して今日来ました。益々のご活躍をお祈りします。
- ♪ 上品な演奏に感激しました。

5. モーツァルト・サロンについてのご希望やご意見などがございましたらご記入をお願いします。

- ♪ 緊急事態宣言が解除されたので、サイン会、面会等行った方が良いのではないかと思います。
※ ワクチン接種率が世代によっては低いこと、医療体制が整っていないこと、治療薬(抗体カクテル)がまだ少ないこと、第6波到来の予想があること等々…。まだまだ予断を許さない状況です。当サロンとしては、経口治療薬ができ、自宅療養で完治できるようになったら考えたいと思います。例えばお客様にとっては1回のサイン会でも演奏者には何10回にもなり、もしその中に感染者がいたら大変なことになります。演奏者の皆様、お客様を守るためにもご理解を頂けたら幸いです。私たちは早くお茶を提供したいです！
- ♪ いつもホスピタリティあふれるご対応をありがとうございます。久しぶりに来る事が出来て良かったです。
- ♪ このような機会を与えてくださり、至福のひとつきを過ごすことができました。深くお礼申し上げます。今後共々よろしくお願いいたします。
- ♪ コンサートの開演まで、大変な御苦労がとおありと勝手ですが推察いたしますが、今回も無事に実現され、ありがとうございます。
- ♪ コンサートが再開されて嬉しいです。
- ♪ とても空間が広々と良かったです。サロンに飾ってある絵、とてもすてきですね。



グリーグ
様々なテクニックを駆使し、
しかも美しい曲を簡単に演奏！



フバイオペラ「カルメン」の舞台が浮かんできました。



豪華なプログラムで感動を頂きました。



コロナ禍の収束と皆様のご健康を祈って
アンコール「タイスの瞑想曲」



ありがとうございました

第73回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

佐藤卓史ピアノリサイタル チケット発売中!

~若き巨匠による名曲の数々~

2021年10月24日(日) 14:00より 入場料:3,000円

ラモーン:新クラヴサン曲集 第4組曲より ガヴォットと6つの変奏
 シューベルト:ピアノ・ソナタ 第2番 ハ長調 D279
 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調 作品31-2「テンペスト」
 ドビュッシー:こどもの領分
 シャミナード:6つの無言歌 作品76より 第4曲「エグローク(田園詩)」第3曲「牧歌」
 ショパン:アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ 作品22

※下記公演は全て14:00開演です。

第74回 2021年11月28日 根津理恵子ピアノリサイタル 入場料:3,000円
 ※2021年5月16日延期公演
 第75回 2022年2月13日 永井公美子&矢島愛子デュオリサイタル 入場料:3,000円
 第76回 2022年4月10日 魚谷絵奈ピアノリサイタル 入場料:3,000円
 第77回 2022年6月26日 ゴウ芽里沙ピアノリサイタル 入場料:3,000円

※12月19日に予定しておりました「山口友由実ピアノリサイタル」演奏者の都合により延期になりました。日程は決まり次第、この欄に掲載いたしますのでしばらくお待ちくださいませ。

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み:記号10150 番号70038231

②他の金融機関からのお振込み:店番018 普通預金7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金2093151

※クレジットカード、コンビニ決済をご希望の方はPass Marketよりご購入いただけます。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

緊急事態宣言は解除となりましたが、当サロンでは引き続き、下記の内容で新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしております。どうぞご安心の上、ご来場くださいませ。

- ♪ お客様全員のマスク着用
- ♪ 人数制限
- ♪ アンケート用紙へのお客様のお名前、お電話番号のご記入
- ♪ 会場入口での検温、およびアルコール消毒
- ♪ 開演前、休憩中、終演後の換気
- ♪ 下記事項を控えさせていただきます。
 - ・お飲み物の提供
 - ・演奏者への贈り物
 - ・サイン会
 - ・演奏者によるお客様の見送り

♪『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』

1,500円(税抜き価格)



当社団が2016年に柿沼唯先生に委嘱したクリスマスの三重奏曲を是非CDにというお声に応え、若手の錚々たる演奏家を得て華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムとして完成いたしました♪

モーツァルト:ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
 チャイコフスキー=柿沼唯:「くるみ割り人形」より花のワルツ(2016年委嘱作品)
 柿沼唯:クリスマス・メドレー(2016年委嘱作品)
 演奏:上敷領藍子(VI) 三井静(Vc) 佐藤卓史(Pf)

モーツァルト・サロンピアノ教室 指定の水曜日、金曜日



魚谷絵奈先生

現役のピアニストとしても活躍される魚谷絵奈先生と青木沙耶花先生によるワンランク上の個人レッスン。ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

- ・月額制:10,000円~(30分~/年40回)
- ・1レッスン制:3,000円(30分) / 6,000円(60分)



青木沙耶花先生

お問い合わせ:一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル5F

TEL:03-5939-9535 FAX:03-5939-9536

HP:<http://www.kokusai-ikuei.jp/> Facebook:<https://www.facebook.com/mozartsalon>

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。